

# Web コミュニケーションツールとしてのイントラブログの構築

宮崎 真

Masashi MIYAZAKI

## 1 はじめに

現在、個人を対象としたウェブログ (Weblog, ブログ) やソーシャルネットワーキングサービス (SNS) が急速に普及している。その中でも企業、組織、部署などの定型化されない知識の蓄積や情報共有を目的に利用する考え方が提唱されており、その考え方はイントラブログと呼ばれている<sup>1)</sup>。このイントラブログは、ある組織内のイントラネットのみで公開される閉じたブログシステムである。しかし、実際にイントラブログを会社に導入する場合、同じ組織でも、部署による区別、個人の職位による区別などといった、その組織特有の制限があり、必ずしも活用できているとはいえない。

本研究では、このような問題を解決し、部署間にまたがって運用できるイントラブログを提供し、ブログ上でのコミュニケーションの活性化を目的とする。なお、本システムは研究室を実験対象とし、名称を ISDL ブログシステムとする。

## 2 イントラブログ

### 2.1 イントラブログと社内ブログとの違い

マーケティング目的などに利用する社外への情報発信に用いる「社外公開型」ブログに対し、社員を読み手として情報発信を行う「非公開型」のブログも存在する。この非公開型のブログは結果として従来のイントラネットの代用もしくは併用という形式をとまっており、「社内ブログ」と呼ばれる。一方「イントラブログ」の定義は、「XML に準拠した HTML である XHTML 言語によって記述されたもの」であり、かつ「RSS を自動的に生成可能なセマンティックなネットワーク」を指し、社内ブログはイントラブログの構成要素の 1 つとなる。

イントラブログでは、社内の様々なポータルやグループウェアなどのシステムを、RSS という標準フォーマットと組み合わせることにより、リアルタイムで社内情報の変化を知る環境を提供する。

### 2.2 RSS リーダーによる情報通知システム

イントラブログの基本的な概念図を Fig.1 に示す。イントラブログにおいて、対象とする情報源はブログフォーマットに準拠した言語の XHTML により書かれている必要があり、加えて RSS を配信できる仕組みを持つことが必須条件となる。イントラブログにより、ユーザは

社内外の情報を効率良く取得することができる。

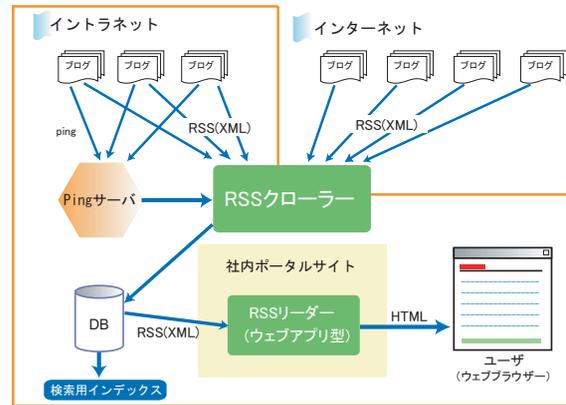


Fig. 1 従来のイントラブログの概念図

## 3 提案システムの概要

現在、提案システムは研究室を対象としている。この場合の本システムの構想図を Fig.2 に示す。Fig.2 に示すように、本システムは、RSS を収集するという従来のイントラブログと同じ構造であるが、以下に示すような特徴を備えている。

- エントリー (ブログの記事) の閲覧制限

従来のイントラブログでは、閲覧の制限が無く、自由にブログを閲覧することができる。これに対し、提案する ISDL ブログシステムではエントリー単位で情報を管理し、Fig.2 に示すように認証を用い、見せるべき相手を指定可能にするなど、情報 (エントリー) の住み分けを行う。

- 動的なブログリーダーインターフェース

複数のブログにまたがるエントリーを 1 つの HTML ページで表示することができ、従来のページ移動式のリーダーと比較し、ユーザ負担が少ない。

- エントリーの解析処理

エントリーが格納されているデータベースにおいて、後述するキーワード抽出等の様々な処理を行い、エントリーに情報を付加し、新たな機能 (4 章) を組み込む。

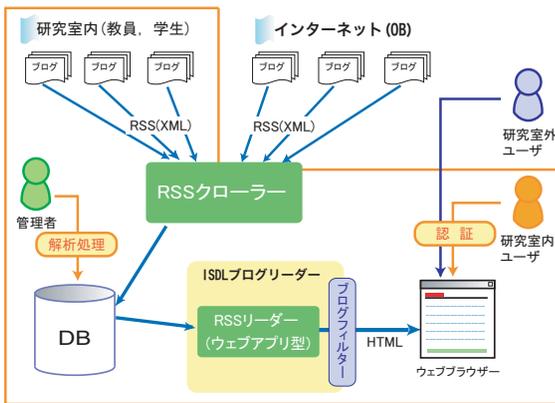


Fig. 2 ISDL ブログシステムの構想図

## 4 提案システムの機能

本システムでは、ユーザ間のコミュニケーション (エントリーの投稿, コメント, トラックバック) の活性化のため、様々な機能を付加する。以下に、本システムで提供する機能を挙げる。

### 4.1 閲覧者選択機能

エントリーを記述する際に、閲覧可能とする相手を指定することにより、エントリーの閲覧対象を限定することができる機能である。指定されていない閲覧者は、そのエントリーを閲覧することができず、指定された閲覧者のみが閲覧可能となる。この機能により、各個人がエントリーに対して公開の制限を加えることができ、より指向性の強いエントリーの投稿が期待できる。

### 4.2 自動トラックバック機能

トラックバックを自動的に付加する機能である。方法の手順は以下の通りである。

1. エントリーから自動で複数のキーワードを抽出
2. キーワードを元にエントリー間の関連度を計算
3. 関連度の高いエントリーにトラックバック

この機能により、投稿エントリーは自動的に他のエントリーと繋がり (リンク) を持つこととなる。トラックバックという反応を得られることは、ユーザにとりエントリーを投稿する意識を高めるものとして期待できる。

### 4.3 キーワードランキング機能

研究室ブログの中で、キーワードの登場数のランキングを作成する機能である。このランキングの推移により、研究室全体としての現状や興味などがわかると考えられる。

### 4.4 コミュニティ機能

SNSの特徴でもあるコミュニティ機能と同様のものがある。ユーザは、ある話題に関して議論するブログを、

自由に作成することができ、その話題に関する議論の活発化が期待できる。

### 4.5 一括検索機能

本システムに登録されているブログのエントリーの中から、キーワードにより検索を行うことのできる機能である。この機能により研究室内のブログで保持している情報を取得することが容易となる。

## 5 システムの実装

### 5.1 現状

現在、RSS クローラーを作成し、エントリーデータを収集している段階である。これをもとに、エントリーを閲覧するインターフェースを Fig.3 に示す。



Fig. 3 システムのインターフェース

日付を選択し、その日に投稿されたエントリーを表示する日付選択機能、および 3.5 節で挙げた一括検索機能を実装している。

### 5.2 今後の予定

- 各機能の開発  
キーワード抽出、関連度計算等は、GETA (汎用連想計算エンジン) を用いる予定である。
- インタフェースの向上  
AJax を用いたエントリー表示を行い、ページ移動の少ないリーダーを作成する。
- 実験による検証  
研究室を対象として本システムへ移行し、ユーザの要望に応じ機能を改良、追加する。

## 6 まとめ

本報告では、研究室を対象とした ISDL ブログシステムの紹介を行った。今後は、各機能の開発とともに導入を図る。また、システム上での各ユーザのアクセスログを検証し、本システムの有効性を検証する。

## 参考文献

- 1) 小川浩, 四家正紀, 上田一吉, ビジネスブログブック, 毎日コミュニケーションズ, 2005